

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成30年11月19日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成29年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ガサガサ体験教室 ・親子カニカニ観察教室 ・親子陶芸教室 ・ふれあいガラス絵付け教室 ・高校生出前教室 夏休み親子ものづくり教室 ・折り紙飛行機教室 ・親子キャンドル教室 ・小学生パソコン教室(放課後居場所作り事業) ・はじめての手話教室 ・頭脳スポーツ大会 など 		
施設内容	<p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。</p> <p>利用開始日:昭和63年6月1日 施設面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建</p> <p>施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p>		
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員2名 事務員1名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		H28年度(決算)	H29年度(決算)	H30年度(予算)
収入	県支出金	19,879,000	20,982,000	20,593,000
	事業費収入	69,000	69,400	69,000
	収入計	19,948,000	21,051,400	20,662,000
支出	事業費	379,705	332,217	605,000
	管理運営費	6,948,963	8,809,760	8,535,000
	人件費	11,103,170	10,268,207	9,990,000
	消費税	1,515,530	1,640,130	1,532,000
	支出計	19,947,368	21,050,314	20,662,000
使用料収入		640,470	677,080	648,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
団体数	859	986	1,029	1,032	1,097	1,001

(2)利用者数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
人数	15,535	15,259	17,096	18,105	21,203	17,440

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>①各施設の特色を生かしたプログラムの充実 ●親子参加型「親子ガサガサ体験教室」・・・基本理念の「社会教育活動の用に供する」に値するので大いに評価したい。 仁淀川の自然を生かし地域関連団体と連携した体験型の自然教室を開催し、この事業は非常に好評を得ているので、今後、開催回数を増加できないかを検討する必要があると思われる。</p> <p>●「パソコン教室」・・・児童の放課後の居場所づくりとして事業を行い、多くの参加者を得ている。共働きの世帯が多い天王エリアの特性を加味しても社会的意義は大きい。その事業も、より充実させることができないか検討を望む。</p> <p>●「親子ものづくり教室」・・・高校生を講師とする体験教室は、高校生が「他者に教えること」を通じて、自主自立の体験を得る機会にもなるため、素晴らしい取り組みである。</p> <p>●新規事業「頭脳スポーツ(オセロ)大会」・・・年齢に関係なく参加できるため、参加者同士の新たな出会いが期待できる。看板事業となる可能性があることも、喜ばしい。</p> <p>②効果的PR活動・・・近隣の小学校(土佐市内7校、いの町内5校)には毎月訪問し、主催事業のチラシを持参して学校長に参加依頼をしている。「はじめての手話教室」の募集PRについては、高知新聞の「こみゅっと」「とさトピ」欄や、いの町、土佐市の広報への掲載により、多くの人の目に触れるよう努めている。こうした取組が継続的に行われることを期待する。</p> <p>③フォローアップ・・・利用団体代表者へのお礼の手紙の送付は、素晴らしい。</p> <p>④学校との連携・・・中高生の勉強合宿やリーダー研修の場として提供しており、青少年が施設との親しみを生む効果がある。</p> <p>⑤地域社会との連携、融合・・・学校支援地域本部のコーディネーターとの連携による事業の逆輸出も行っている。高知県進学協議会と連携して、高吾地区高校大学進学チャレンジセミナー合宿も実施した。地域の活性化のため、積極的に行動している点を高く評価する。 地域の特色(陶芸、仁淀川)を活かした人々との調和がある。避難訓練や青年団、大学生と連携した行事等、人と自然を活かした活動は評価できる。</p>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>①利用者ニーズの把握・・・利用者との直接対話でニーズをキャッチすることも必要と考える。また、キャッチしたニーズをどう分析をしたかも知りたい。</p> <p>②利用者サービスの向上・・・利用者が気持ちよく使えるよう整理整頓、清掃を徹底し、植木の剪定や草引きも職員が率先して行い、施設の内外の整備を行っている。また、利用者の要望に応じて、Wi-Fiを設置したことで利便性が向上したことは評価できる。</p> <p>③職員の資質・指導力の向上・・・責任を持つ意識の醸成と、自主的・積極的に事業に参加する姿勢を促している。そのうえで、職員研修の記録を作成し、個人に合ったステップアップ計画策定があれば、なお良い。</p> <p>④障害者や高齢者への配慮・・・字の大きさや段差などの実質的な障壁や心理的な障壁を作らない、持たないを意識して業務に取り組んでいる。 主催事業「はじめての手話教室」に職員も参加させ、基本的な手話の知識を学ばせている。職員の指導に力を入れている点と、利用者等とのコミュニケーションを心がけ、利用者が要望を出しやすい関係づくりを目指している点を高く評価する。</p> <p>⑤緊急事態時の連絡体制の整備・・・地域になくてはならない施設として、更なる関係機関との連携を望む。</p>

③施設の運営について	<p>①職場環境について・・・少人数でローテーション体制のため、報告・連絡・相談が抜かりなくできるよう、連絡ボードを設置している。業務運営改善の取り組みとして、利用申請書がホームページでダウンロードできるようにし、外部からの電話について、青少年体育館と青少年の家で窓口を一本化して効率を図っている。</p> <p>所内は常に清掃が行き届いており、清潔感もあり利用者からの評判も良い。また、環境美化に大変努力しており、季節ごとにプランターや敷地内に花を植え、近所の方々の目を楽しませている。また、初夏のムカデ対策など、細部まで気を付けた管理を行うことができています。</p> <p>②施設面について・・・定期点検等、具体的に細やかな行動に努めている。安全意識が高い。</p> <p>③業務運営改善の取り組み・・・効率的なかたづけ方法等の改善点がある。引継ぎ事項など抜かりがないように、職員間で声を掛け合い、連携して日々の業務にあたっている。</p> <p>④施設運営へのボランティアの活用・・・施設自身が課題としてあげているように、青年団等と他の団体と連携してのボランティアを活用する方法を検討してほしい。</p> <p>⑤指定管理者の管理運営状況・・・仕様書に沿った運営ができています。</p>
④利用実績	<p>(1)企業研修が増加していることは、施設の評価向上につながる。 利用団体数は1,097団体、過去最高の利用数となっている。利用者数は21,203人、過去2番目に多い数となっている。利用者数は目標の18,000人を大幅に上回り、10年ぶりに20,000人を突破した。これは、企業研修が年々増加傾向にあることが大きいと思われる。</p> <p>(2)体験事業のリピーターが増えている。 主催事業の参加者アンケートでは、ほとんどの方から「また是非参加したい」との感想が寄せられている。学校での体験事業が削られる中、主催事業が学校の補完となる意義を感じる。</p>
⑤収支の状況	<p>平成28年度と比較して、施設使用料収入は36,610円増加した。 管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に1,086円返還) 平成29年度決算額(県支出金):20,980,914円</p>
総合評価	<p>同施設は4～5年前と比較すると教育施設としての意義は格段に向上した。以前はハード面やコンテンツありきの管理・運営レベルに終始し、特定少数の人々しか恩恵を受けられない状態だった。しかし現在、現在の所長がリーダーシップを発揮し、主催事業の活性化を図っただけでなく、施設のできること、できないことを明確化して、地域の特色を最大限に活かした仁淀川での遊びや土佐和紙を使ったアクティビティなど、相当な組織努力が感じられた。</p> <p>また、学校への出前事業等新しい試みで、学校での体験事業が削られる中、その補完もされていることや仁淀川の自然とのふれあいを親子で体験する、等々仕様書の親子事業、自然とのふれあい、居場所づくり、生涯学習の場づくりの基本理念と実施事業が合致している。</p> <p>一方で、現在の「売り手市場」の影響を受け、人材採用が苦戦を強いられるなか、職員育成にも力を注いでいる。OJTで知識・技術の向上を図り、利用者アンケートや地域の人々との交流をきっかけにして職員の「やりがい」を感じられる働き方を模索し続けている姿勢も評価できる。</p> <p>特に、職員のワクワク感を大切にしながら主体性を引き出すことを意識している。職員の手作りによる主催事業のアイテムは、子どもたちからも喜ばれており、その姿が職員の励みになっている。</p> <p>A 職場内の雰囲気の良いさは利用者にも伝わるところであり、今後の発展が期待できる。良い人材の確保と定着のため、職員の待遇面も見直しが必要であると思われる。ローテーション制の勤務である点も考慮して、検討を望む。</p> <p>さらなる職員の資質の向上やおもてなしマインドの醸成を目指すことで教育施設としての役割を果たせる組織になるのではないかと考える。</p>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。